

# こどもたちへ積善と陰徳のすすめ

## ～和語陰鷲録 意識～

著者 袁了凡・和訳 無名上人  
意識 三浦尚司

A5 判並製 / 96 ページ / 定価：本体 667 円 + 税



## 隠れて善を積むとはどういうこと? どんないいことがあるの?

その疑問に本書は答を出してくれます。

意識 ■ 三浦 尚司 (みうら なおじ)

昭和 19 (1944) 年、福岡県豊前市に生まれる。

昭和 43 (1968) 年、中央大学法学部法律学科卒業。

平成 16 (2004) 年、福岡県警察 (地方警察官) を退官。

現在、九州国際大学特任教授、(社) 日本詩吟学院岳風会認可筑紫岳風会会長、全日本漢詩連盟理事、福岡県漢詩連盟会長を務める。

校註著書『遠帆楼詩鈔』『白石廉作漢詩稿集』『和語陰鷲録 全』

著書『初学者のための七言絶句の作り方』『周洋詩草』

### 『陰鷲録』とは?

中国の明の時代の大学者袁了凡が自分の息子天啓のために書き残した家訓ともいえるべき善書です。毎日、善い行いを重ねることによって親から子へ、さらに孫にまで運が開けるといふ、原因から結果までを、事実を示しながら解き明かしています。

謙虚 (ひかえめでつつましく) に善い行いをかさねる = 積善を実行しながら、自分の運命をよりよい方向に変えていくという考えは、今の私たちにとっても必要なことなのです。

日本の社会でも、老若男女の中に、ボランティア活動や身の回りで小さな親切を実践するといった地道な社会貢献活動をしている人々がたくさんいます。善行を積みかさねることで幸運を得ることができるという考え方は、いまだ衰えていないと思うのです。朝起きて夜寝るまでの一日を振り返って、自分の行動を反省し、更に善行の意識を呼び起こして翌日の生活に生かすことは、まことに正しく有益な生き方だと思えます。

すぐれた先人たちが「積善の家に必ず余慶あり」ということを信じて疑わなかったように、私たちもひたすら目標を定めて、一日一日を大切にしながら積善と陰徳を実践していけば、必ずや目的にかなう人生が送れることを確信するものです。

梓書院 (貴店番線)	ご担当	日付	注文	ISBN 978-4-87035-428-9 C0095
	様	/	冊	こどもたちへ積善と陰徳のすすめ ～和語陰鷲録 意識～
	三浦尚司 意識			福岡市博多区千代 3-2-1 (tel) 092-643-7075

【ご注文は FAX : 03 - 5309 - 2831 まで】